通学路に関する実地踏査（２回目）について

１　通学路の安全対策について

町田市では、児童の通学の安全を図るため、町田市立小学校の通学路について定期的に関係機関と合同で点検を行っています。市内小学校を２つのブロックに分け、それぞれ隔年の実施としています。

学校長が指定した通学路について、学校は必要に応じて PTA 等保護者組織の協力を得て点検を行い、改善要望書を作成して教育委員会に提出します。教育委員会は、提出された改善要望書をもとに、各管理者（道路管理者や警察等）、学校、PTA 等保護者組織とともに現地で通学路の現状（登下校時の交通量や人の流れ等）を確認し、各管理者は対策案を検討・決定して回答します。

また、統合新設校では、通常の通学路安全点検とは別に、統合３年度前に通学路安全点検を行い、統合前年度末までに各管理者は安全対策を実施します。さらに、統合初年度にも通学路安全点検を実施し、新しい通学路の安全確認・対策を行っています。

前回は南第四小学校での安全対策をご紹介しましたので、今回は南第三小学校での安全対策をご紹介いたします。（資料４-２参照）

２　実地踏査１回目（7月１３日）の委員からのご意見紹介（資料４-３参照）

７月１３日の基本計画検討会で現南四小から仮校舎（現：南中学校）までの道を、委員の皆様に歩いていただき、たくさんのご意見をいただきましたので、ご紹介いたします。

３　本日の実地踏査（２回目）について

（１）目的

新校舎（現：南第四小学校の位置）から現在の南第三小学校の通学路を歩くことで、どのような道を通学路とするべきなのか（道幅や見通しなど）についてご意見をいただきたいと思います。

※南第三小学校・南第四小学校の通学路は、これまでの通学路安全点検を通じて、道路管理者や警察とともに安全対策を行っています。このため、南第三小学校方面から新校舎までの新しい通学路についても、基本的には現在の通学路も活用することを想定しています。

（２）実施踏査内容

実地踏査ルートを２つ作成しましたので、２班に分かれて現地を確認し、気になった箇所についてご意見をいただきたいと思います。

（３）実地踏査後の流れについて

本日の実地踏査でいただいたご意見をまとめて、１２月２１日（月）の検討会で報告予定です。